

令和5年度公益財団法人奈良市生涯学習財団事業計画書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

1. 事業方針

公益財団法人奈良市生涯学習財団は、市民の学習意欲と能力の醸成、教養の向上、健康の増進、情操を豊かにすること、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業及び児童に健全な遊びを与える事業を行うとともに、市民の立場に立った施設運営を行い、いつでも、誰でも学ぶことのできる公益性の高い学習環境の整備及び子どもにやさしいまちづくりを促進する。

公民館では、学びを通して地域住民や地域で活動する団体が連携し、協働して課題を解決する力を育成することを目指す。また、子ども・若者から高齢者まで幅広い世代にとって、公民館が、いつでも気軽に利用でき、体験活動や世代・地域を越えた交流につながるような市民の活動拠点となることを目指す。

男女共同参画センターでは、市民の男女共同参画社会への意識の向上を図り、それぞれの能力を発揮できる豊かで活力ある社会の形成を促進することを目的とする。

西部会館市民ホールでは、市民が気軽に文化に触れる機会を持ち、文化に対する興味・関心を高め、市民の文化活動が活発化することを目的とする。

児童館では、児童が心身ともに健やかに成長し、また能力及び可能性を最大限に伸ばし、安全・安心な環境で学ぶことのできる居場所となるよう、児童館の運営を行う。子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した運営を行うために、児童の意見を尊重し、保護者をはじめとする地域の人々とともに子どもの育成に努める。

2. 事業内容

(1) 受託事業

奈良市から指定を受け、指定管理者として事業方針に基づいた事業を展開する。

○公民館（生涯学習事業）

生涯学習センター・公民館の活性化と、市民の学習意欲と多様なニーズに応えることを目指し、社会教育・生涯学習に関する各種の事業を行い、全ての世代が学ぶことのできる機会を提供する。さらに学習成果を個人の生活だけでなく、地域での活動等に生かすことのできる生涯学習社会の実現を目指す。

令和5年度は、地域の課題解決に向けた学習活動の場及び学びの成果を生かせる場並びに地域における「学びの場」「地域づくりの拠点」としての機能強化を図る。公民館での様々な学びや取組が、地域の教育力を高め、市民が主体的に地域に関わり、市民の学びが住みよい地域づくりにつながるよう市民の活動を支援する。

また、「子どもの参画ネットワーク奈良」との協働で行っている、子どもが社会の仕組みを楽しく学ぶイベント「子ども奈良CITY」を引き続き開催し、子どもが一人の市民として尊重され、自信に満ちた社会の一員へと成長することを支援する。なお、令和5年度は、施設ごとの計画に基づき、これまでの成果・課題を踏まえ、目標達成に向けた取組を進める。

[指定管理施設]

奈良市生涯学習センター	奈良市立中部公民館	奈良市立西部公民館
奈良市立南部公民館	奈良市立三笠公民館	奈良市立田原公民館
奈良市立富雄公民館	奈良市立柳生公民館	奈良市立若草公民館
奈良市立登美ヶ丘公民館	奈良市立興東公民館	奈良市立春日公民館
奈良市立二名公民館	奈良市立京西公民館	奈良市立平城西公民館
奈良市立伏見公民館	奈良市立富雄南公民館	奈良市立平城公民館
奈良市立飛鳥公民館	奈良市立都跡公民館	奈良市立登美ヶ丘南公民館
奈良市立平城東公民館	奈良市立月ヶ瀬公民館	奈良市立都祁公民館

計24施設

○男女共同参画センター（生涯学習事業）

男女共同参画社会を推進するための活動拠点として、市民の男女共同参画社会への意識の向上を図り、それぞれの能力を発揮できる豊かで活力ある社会の形成を促進することを目的とした事業を展開する。

具体的には、男女共同参画社会に関する講座の広報及び啓発に関すること、男女共同参画社会を推進するために必要な情報の収集及び提供、活動団体等の学習支援及び交流の場の提供を行い、男女共同参画社会の推進に向けた活動の拠点施設として市民がより積極的に参画できる環境をつくる。

[指定管理施設]

奈良市男女共同参画センター

計1施設

○西部会館市民ホール（生涯学習事業）

市民の文化の向上を図り、もってふれあい豊かな地域社会づくりに寄与することを目的とした事業を展開する。

具体的には、市民にとって、文化・芸術を身近に感じられるような発表の機会を提供し、地域の文化団体等との協働による事業を実施することで、市民の文化に対する意識の高揚と、文化に親しむ機会の拡充を図り、市民の文化活動を支援する。

[指定管理施設]

奈良市西部会館市民ホール

計 1 施設

○児童館（児童福祉事業）

児童の健全育成とともに市民との協働による子育て支援の拠点として事業を展開し、施設情報や児童館事業の広報を充実することにより利活用の促進に努める。

具体的には、0歳から18歳未満のすべての児童を対象とし、地域における子どもの居場所となるよう、遊び及び生活の援助を行い、自尊感情や自己肯定感、自主性・社会性を育むとともに、情操を豊かにするなど児童の心身を育成する。また、子育て家庭の孤立化や育児不安の波が広がっている中で、子育て相談などの子育て支援を日常的に行い、課題の早期発見や発生予防的な福祉機能を果たすとともに、深刻な問題は必要に応じて専門機関へとつなげる。

さらに、子どもたちが地域社会と接点を持つ活動や、子どもを中心とした地域のネットワークの構築を行い、地域での子育て環境づくりを進めることで、子どもにやさしいまちづくりに寄与することを目指す。

令和5年度は、令和4年度に行った児童館の現状・課題の分析及び来館者アンケートに基づき、より充実した事業を展開するとともに、より多くの子どもたちにとって児童館が心の拠り所となるような児童館運営を目指す。また、児童館の対象でありながら利用することの少なかった中学生・高校生たちが来館しやすい環境づくりに努めるとともに、思春期の発達特性をよく理解し、自主性を尊重し、社会性を育むように援助する。

[指定管理施設]

奈良市古市児童館 奈良市横井児童館 奈良市東之阪児童館 奈良市大宮児童館

(2) 自主事業

奈良市の関連諸施策や多様な関係機関との連携を図り、多様な学習ニーズに応えることのできる学習機会の提供を目指す。また、当財団の取組をより多くの人々にPRするとともに外部収入を獲得するため、職員の特技や専門性を生かし、講師派遣等の事業展開を行う。さらに、自主財源の確保と事業内容の充実のため、外部資金による事業開催にも取組を進める。

奈良ひとまち大学

家庭教育サポートネットワーク支援事業

奈良市子育てスポット事業